

一般社団法人 福島県作業療法士会  
平成28年度 第4回理事会抄録

日時：平成28年9月29日（火）18：00～20：30  
場所：ユラックス熱海 第3会議室  
出席者

理事：長谷川、柴田、木村、田口、佐藤、根田、  
児玉、今川、松下、青木、岡本（佳）

監事：渡邊、岡本（宏）

支部長：半谷、近澤、鳥越、小平、宗像、齋藤

部員：米畑(生涯教育部長代理)、高野、荒井、日下部

1. 会長挨拶

2. 定足数報告(総務部長)

出席者23名（理事12名中11名出席）

3. 三役の会議等出席動向

9月3日	福島県リハ専門 職団体協議会	郡 山	長谷川会長、柴田 副会長、根田理事
9月24日	第3回47都道府 県委員会	東 京	長谷川会長
9月25日	協会50周年記念 式典・祝賀会	東 京	長谷川会長・柴田 副会長

4. 議題

【検討・決議事項】

- 認知症に関する支援推進委員会の設立（今年度中）
  - ①地域医療介護総合確保基金事業補助金の計画に基づく研修会の実施
  - ②OT 協会主催「認知症作業療法推進会議」の内容に基づく研修会の開催
  - ③その他、認知症支援に必要な事項の検討など
 当面 31 年度までの設置とし、今年度予算は県からの補助金 150 万円を充てる。  
構成員は介護保険・地域保健福祉・医療保険部、支部長など ⇒承認
- 認知症初期集中研修費用について立替（財務）  
認知症支援推進委員会設立につき、県からの補助金が入金されるまで経費は事務局費で一時的に立替する。 ⇒承認
- 東北作業療学会負担金に関する補正予算  
平成 29 年度分の徴収として 442,500 円（885 名会員として）を事務局費として補正する。 ⇒承認
- 財務部、総務部の通信費について  
事務局会議を web 会議としたため通信費を事務局費で計上する。 ⇒承認

5. その他

○県認知症医療連携協議会について（渡邊監事）  
福島県認知症医療連携協議会が発足。11/9 に開催される会議に作業療法士のオブザーバー参加を提案し認めてもらった。（介護保険部部長 青木氏出席の方向ですすめる。） ⇒承認

○MTDLP 委員会から予算補正について

事例検討会の時間が 2～3 時間となり講師謝金が増加した。また、研修会の回数増加のため交通費などで 4 万円を補正したい。 ⇒承認

【報告案件】

- 福島県リハビリテーション専門職団体協議会の設置について(長谷川会長)
  - 平成 29 年度地域医療介護総合確保基金事業提案 (PT 士会提出)
    - ①（医療分）リハビリテーション機器開発・活用人材育成事業
    - ②（介護分）介護施設における包括的腰痛予防に関する導入支援事業
    - ③（介護分）過疎地域等での合同就職説明会の実施による U ターン, I ターン, J ターンの促進
    - ④ （介護分）介護予防推進に資するリハビリテーション専門職種の指導者育成
    - ⑤（介護分）自立支援に資するリハビリテーション研修事業
    - ⑥ （介護分）地域包括ケア構築に資するリハビリテーション専門職種人材育成
  - 平成 29 年度地域医療介護総合確保基金事業提案 (OT 士会提出)
 

医療分、介護分 150 万円ずつ申請  
当面は PT/OT/ST 合同での基金使って事業を進めていき、29 年度以降本格的に動いていく方向。  
平成 29 年度までは上記④⑥を合同で行っていく予定。  
医療分は OT 士会単独で事業案提出。福祉用具などの研修会予定で、150 万円予算で提出した。
- 平成 28 年度福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金（介護人材確保対策事業）  
事業名：認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業  
期間：平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月中 3 回開催  
対象者：作業療法士・介護サービス事業所当勤務者  
内容：認知症初期集中支援について「認知症に見られる行動・心理症状の理解と対応(仮)」「認知症の人の生活支援とアセスメント(仮)」など。  
費用：150 万円の補助決定  
\*9 月 25 日開催 会津支部研修会含める

3. 平成 28 年度第 3 回 OT 協会 47 委員会報告  
(長谷川会長)
- 1) 認知症作業療法推進委員会議：最重要課題  
当県士会からは介護保険部部長青木氏出席  
11/19、20 に委員会議が開催され方針が話し合われる。その後各県士会で推進委員による伝達講習を行う。  
初期からの介入では様々な観点からアプローチが必要なので、精神科領域に限らず作業療法士なら誰でも出来るというようにしてほしい。先駆的事例は、京都府、山形県など。
- 2) 組織強化：協会は組織率 80%以上目標。
- 3) モデル事業
- 4) 地域包括ケア
4. OT 協会設立 50 周年記念式典・祝賀会報告  
(長谷川会長、柴田副会長)  
長谷川会長、柴田副会長が出席。  
大内俊奉氏が厚生労働大臣表彰を受賞した。
5. 福島県立医科大学新学部準備状況報告  
(長谷川会長)  
山形県立保健医療大学藤井先生がアドバイザーとなり進めている。
6. 福島県 OT 学会について (長谷川会長)  
講師：佐藤孝臣氏  
県学会：9/26～申し込み開始。HP 上で確認していただき、申し込みしていただきたい。  
来週には学会誌発送予定。  
今回 OT 協会 50 周年記念事業で広報部・事業部とコラボレーションしていただくが、協力委員も参加費支払い要。
7. 山形県作業療法士会設立 30 周年記念  
柴田副会長出席 11 月 12 日
8. 各部報告
- 1) 財務部  
会費未納者について督促連絡の上、12 月をもって今年度の入会を打ち切る。
- 2) 広報部
- ① ホームページの有効活用について  
積極的に投稿をお願いしたい。  
OT がいる施設について、写真や言葉なども掲載できるようにする。(希望施設)
- ② 災害対策掲示板の無料のサービス終了に伴う変更について  
HP を掲載しているサーバーに移行していく。  
過去分も閲覧できるようにしてある。
- 3) 50 周年事業の進捗情報(広報部・事業部)  
広報部：10/30 県学会とリンクして作業療法フェ
- スタを開催する。県内高校生が参加予定。  
講師：竹田綜合病院 枝並氏。  
事業部：パネル展 10 場面位の作成済。
- 4) 地域保健福祉部
- 認知症関連の県内 OT 調査に関して  
・ 認知症初期集中支援チームに関わる OT  
・ 認知症ケア専門士の資格を有する OT  
・ 認知症対応型通所介護に勤務する OT  
などの調査、情報収集をしていきたい。
- 地域包括ケアについての会議報告書について  
報告書については様式を含め、会員が閲覧できるように HP に掲載するかなど検討中。
- 5) 医療保険部  
10 月 9 日 精神障害領域 ミニ勉強会  
11 月 23 日 発達障害領域 研修会
- 6) その他
- 認知症アップデート研修について  
12 月 11 日 (日) ユラックス熱海にて実施
- 生涯教育部  
研修会参加者名簿について  
各支部など研修会などを行った場合、OT 協会への報告もあるので生涯教育部へ送っていただきたい。  
OT 協会では今年度からサーバーを一元化して保存していく。  
決定事項を文章化し、支部会員に伝達しやすいようにする。
- 災害対策委員会  
各市町村で防災訓練が行われているが、参加者集めに苦慮している。  
防災ネットワークに登録してかつ研修している人とある。今後対象になる方がいれば情報をいただきたい。
5. その他
- 認知症に関する相談先一覧について
- こころうつくしまふくしまフォーラムについて
- 日精協の作業療法部門の福島大会を来年開催予定。
6. 副会長挨拶

以上